



イーハトーブ

5月15日号

4月23日、北海道・知床で乗客乗員26名が乗った観光遊覧船の沈没事故が発生した。船長を含め未だ12名の方が行方不明だ。一刻も早い救出を願ってやまない。

報道では、条件付き運航など出港することを基本とした運航形態、遊覧船が運航する海域の通信状況が良くない中、携帯電話への通信方式の変更、航行に必要な設備が故障していながら修理しない、さらには経験豊富な社員を解雇し、経験が浅い社員と入れ替えを行うという安全をないがしろにした杜撰な経営が明らかにされている。

ベストセラーになった『人新世の『資本論』』の著者である斎藤幸平さんは、資本主義社会では「資本を増やす」こと、つまり金儲けが目的になっていると言う。それ故、安全は二の次になり利益優先になると言うことだ。今回の知床の観光遊覧船の事故は、そのような資本の論理が現象化された結果ではないか。

JR東日本はどうか。コロナ禍、赤字、変革、チャレンジをキーワードに稼ぐことに重きがおかれ、安全がないがしろになっていないか。現場では、度重なる異動により仕事を熟知した社員がいない、要員不足により不安や疑問があっても一人で業務を行わなければならない十分な教育がされていない、若手の離職が止まらないなどさまざまな声があがっている。

JR東日本はいま過渡期の真っ只中だ。私たちJR東労組は、命を価値基準に労働組合として利益優先の資本の論理に対峙し、安全、健康、ゆとり、働きがいのある職場をつくっていきこう。(K・H)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。